



# 東北フードツーリズムフォーラム

東北を旅して  
日本を考える

Travel Tohoku・Think Japan



東北・三陸地方には、リアス式海岸による豊かな海の幸や山の恵み、

それらを食材とした美味しい料理、また、三陸地方に伝わる郷土料理など、

まだまだ知られていない食の魅力がたくさんあります。

東日本大震災からもうすぐ5年。関西から一人でも多くの方が東北・三陸地方を訪れ、

東北の人たちと交流し、美味しいものを食べることが、観光を通じた復興へのチカラになります。

どなたでもご参加できますので、ぜひお申し込みください。



2015年 **12/4(金)** 14:00~17:00 (13:30開場)

● **会場: 中央電気倶楽部 5階 ホール**

大阪市北区堂島浜2-1-25

- ・ JR大阪駅より徒歩12分、JR北新地駅より徒歩6分
- ・ 地下鉄四ツ橋線西梅田駅より徒歩6分
- ・ 京阪中之島線渡辺橋駅より徒歩5分

● **定員: 150名(要申込み)**

● **参加費: 無料**

● **主催: 東北フードツーリズム開発推進協議会**

URL: <http://tohoku.foodtourism.jp/>

事務局: アルパック 株式会社地域計画建築研究所

TEL: 075-221-5132 担当: 高田、片野



## 申込方法

メールまたはファックスにて必要事項をご記入の上、お申込みください。

受付確認のご連絡はありませんので、当日そのまま会場にお越しください。

メール: [tohoku-ft2015@arpak.co.jp](mailto:tohoku-ft2015@arpak.co.jp) FAX: 075-256-1764

## お申込み欄

ふりがな

●氏名 ●性別 男・女

---

●ご同行者人数 人 ●ご同行者の氏名

---

●年齢 20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

---

●お住まいの市町村名

# 東北を旅して 日本を考える

Travel Tohoku・Think Japan

## プログラム

14:00~17:00

### 1 開 会

### 2 事業紹介

### 3 基調講演

### 「森は海の恋人 豊かな三陸の海」

【講師】 畠山 重篤さん

### 4 パネルディスカッション

### 「三陸の食の魅力と フードツーリズム」

【パネリスト】

- ・畠山 重篤さん
- ・阿部 憲子さん
- ・山崎 純さん
- ・辻 卓史さん

【コーディネータ】

- ・橋爪 紳也さん

### 5 閉 会

#### 東北フードツーリズム開発推進協議会

- ・日本フードツーリズム研究会
- ・特定非営利活動法人プレアツーリズム
- ・アルパック (株式会社地域計画建築研究所)
- ・東北わくわくマルシェ (公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ)
- ・近畿日本ツーリスト株式会社
- ・その他の民間企業

#### オブザーバー

- ・公益社団法人関西経済連合会

#### アドバイザー

- ・岩手県大阪事務所
- ・宮城県大阪事務所

## 東北フードツーリズムフォーラム



講師: 畠山 重篤さん

NPO法人森は海の恋人理事長  
京都大学フィールド科学教育センター社会連携教授

1943年中国上海生まれ。県立気仙沼水産高校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。海の環境を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることに大切さに気付き、漁師仲間と共に「牡蠣の森を慕う会」を結成(2009年、NPO法人森は海の恋人を設立)。1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流部で、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」を行っている。この活動は、小・中・高校の教科書にも紹介されている。東日本大震災で牡蠣養殖施設等を全て失うが、震災後の自然環境を活かした地域づくりを展開している。朝日森林文化賞(1994年)、緑化推進功労者内閣総理大臣表彰(2003年)、宮沢賢二イーハートブ賞受賞(2004年)、国連森林フォーラム(UNFF)「フォレスト・ヒーローズ」受賞(2012年)等。第6回KYOTO地球環境の殿堂受賞(2015年)、第25回みどりの文化賞受賞(2015年)など。



パネリスト: 阿部 憲子さん

南三陸ホテル観洋女将(宮城県本吉郡南三陸町)



震災時は館内にいた宿泊客等350名を高台に誘導し難を逃れ、その後6ヶ月にわたり600名の避難者をホテルに受け入れた。ホテル所有のバスで被災地を回る「語り部バス」は震災翌年から毎日運行し、体験者は累計10万人を超える。また、ウニやいくらなど地元の新鮮な海産物を使用した「南三陸キラキラ丼」は女将の発案で、今では南三陸名物として定着した。震災後は町内に点在する店舗を紹介する「南三陸てん店まっぷ」を作り、被災店舗と人々を繋いでいる。



パネリスト: 山崎 純さん

トラットリアポルコ・ロッシン料理長(岩手県大船渡市)

ふるさと大船渡に「女性をエスコートできるような素敵な場所をつくりたい。」と、東京のイタリア料理店、イタリアに渡り、修行を経て「トラットリアポルコ・ロッシン」を開店。新たな食材の掘り起こしを行いながら、三陸気仙の食の魅力を発信し続けている。震災直後には電気や水道が停止する中で、避難所に食事を届ける活動を続けた。



パネリスト: 辻 卓史さん

公益社団法人関西経済連合会 震災復興支援担当(鴻池運輸株式会社 代表取締役会長)

震災直後から発足した「震災復興対策特別委員会」において副委員長を務め、支援活動に従事。現在も、被災3県への定期的な訪問を継続している。今年9月には現地水産加工業者を訪れ、今後、関西での販路拡大支援策を展開する予定。また、鴻池運輸としては宮城県内に2つの物流センターと工事資材の運搬業務や護岸復旧工事等を行う営業所、そして医療関連業務を行うグループ会社でも営業所を所有し、現地での雇用と復興事業にも貢献している。



コーディネータ: 橋爪 紳也さん

大阪府立大学21世紀科学研究機構 教授/大阪府立大学観光産業戦略研究所 所長

都市文化論・都市観光研究を専攻。工学博士。広く関西の観光行政に関与、大阪府市の特別顧問を務め、水と光のまちづくりなど観光集客・都市再生プロジェクトにおけるキーパーソンとして活躍している。『大京都モダニズム観光』『「水都」大阪物語』『ツーリズムの都市デザイン』他、著書・編著多数

